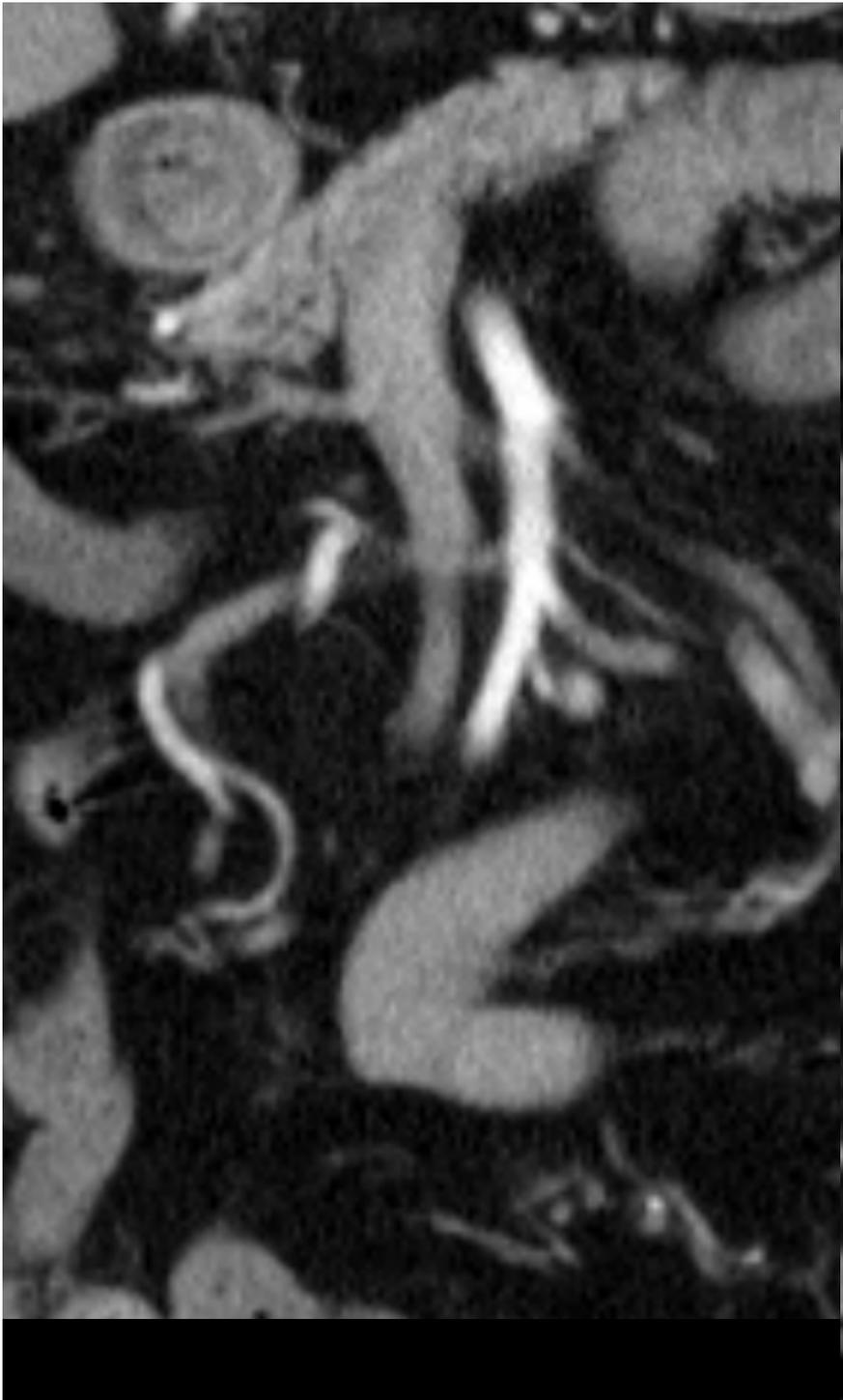
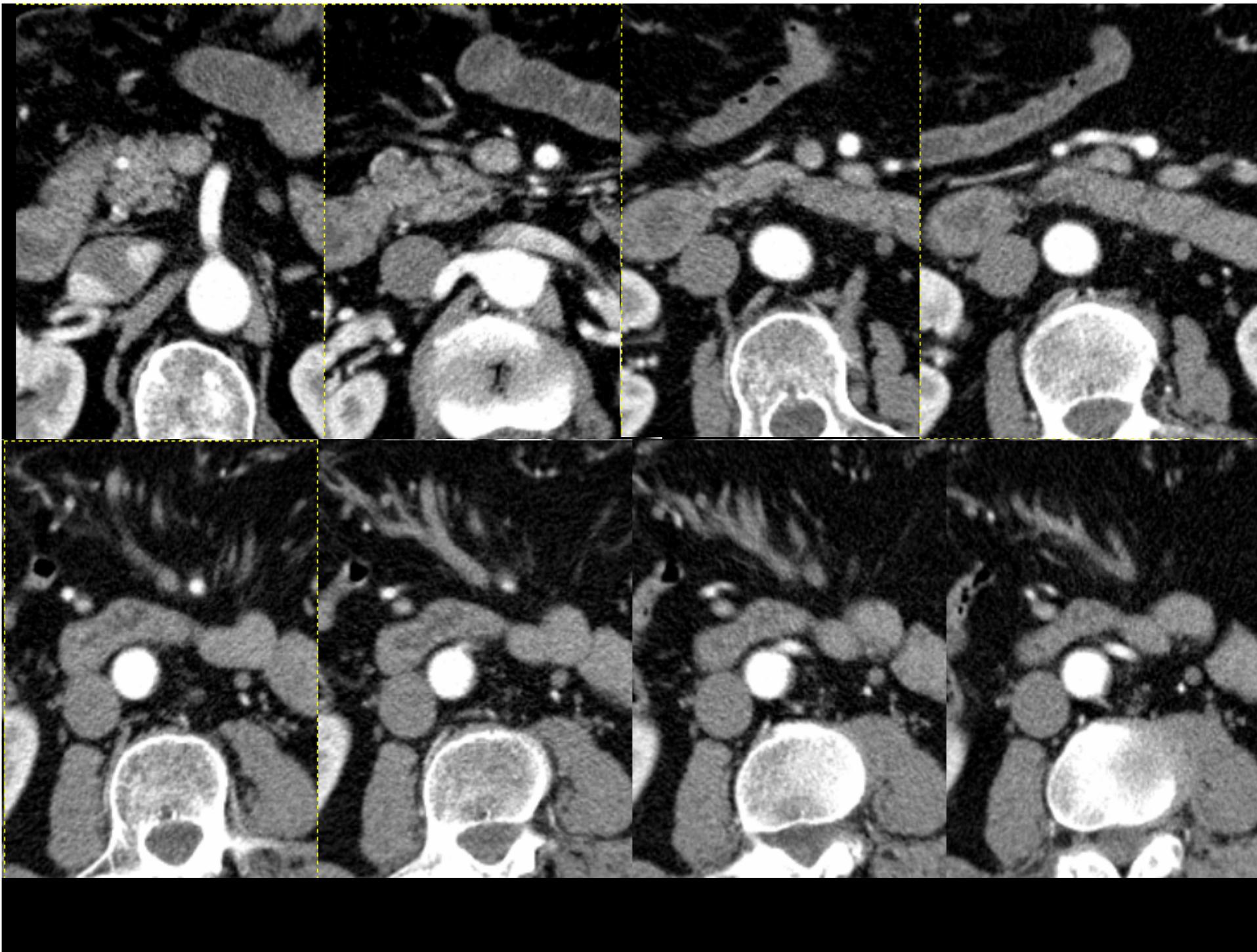
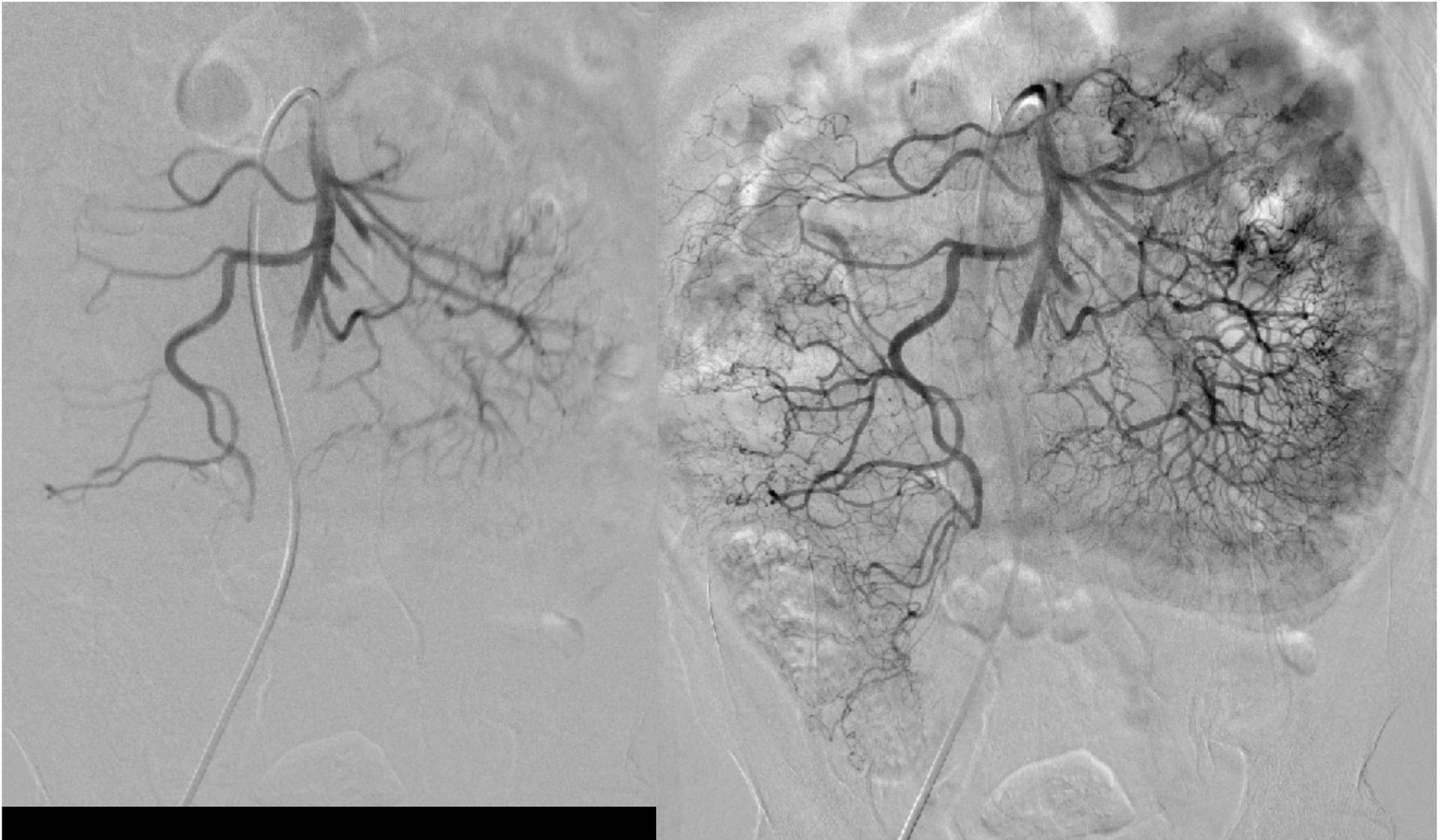


6月30日19時発症の腹痛にて
1日午前4時に来院

66M









空腸枝近位3本目の閉塞病変
に対しカテーテルを挿入。
同部の血栓吸引を行うと赤色
血栓が吸引された。



再度ilio colic arteryの血栓吸引を試みるも硬い血栓が残存したままであり、ガイドワイヤーも遠位には通過せず。SMA血栓症に対しウロキナーゼ24万単位を用いたPTAを施行。最終的には ilial artery・ilio colic arteryの閉塞が残存する形で手技を終了。

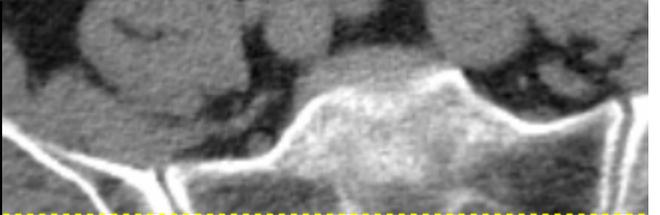
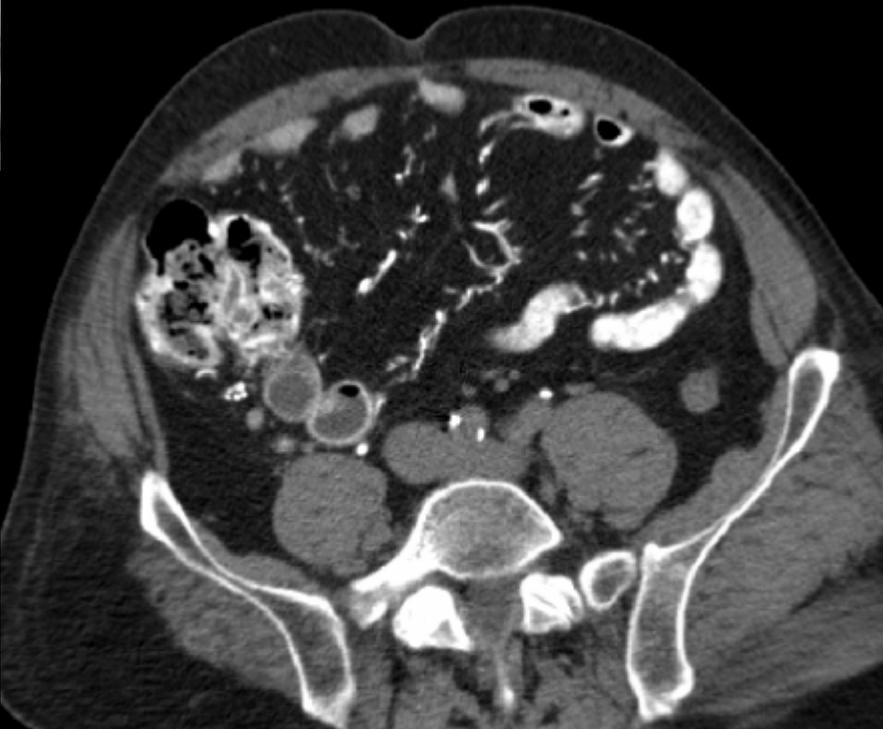
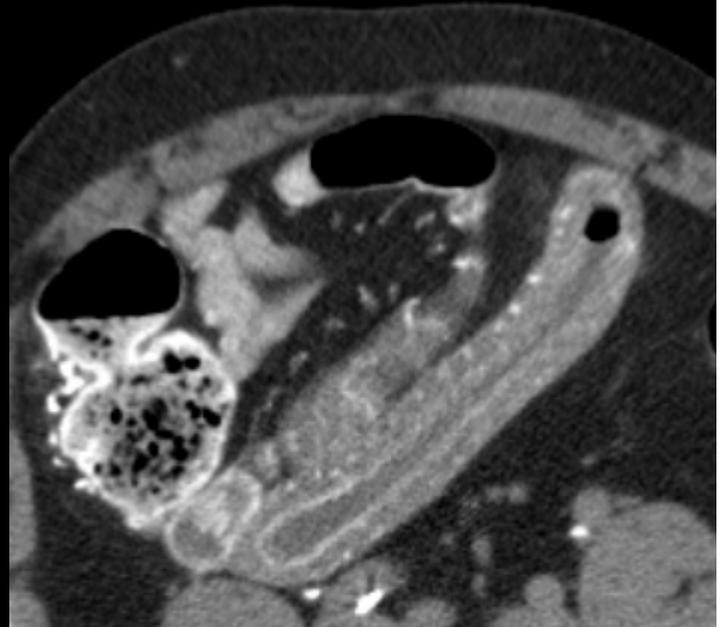
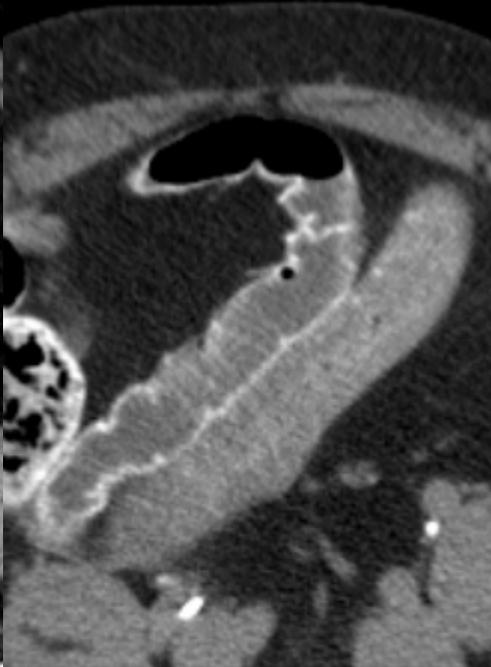
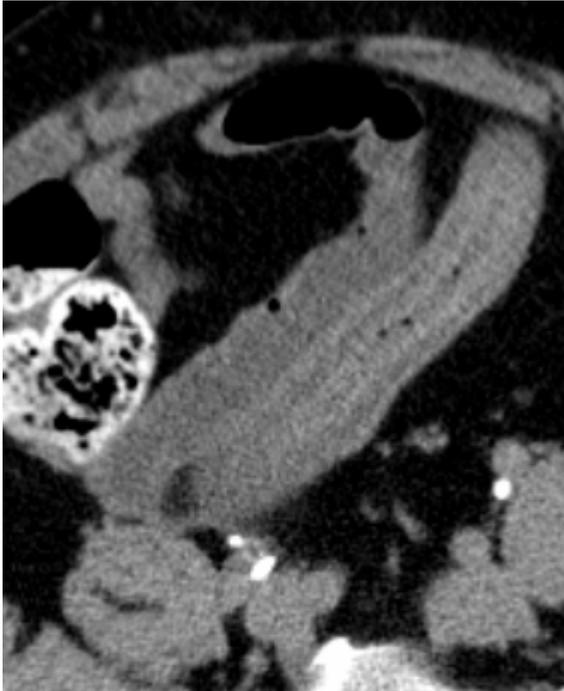


前



後





上腸間膜動脈血栓症

討論

- 肺AVM術後再発に対しGS+金属コイルで塞栓した例
- 元のAVM近傍にあった小さな病変が徐々に増大してきたと思われる